

# 観

観光・地域活性化

デジタルサイネージに活用できる法人向けブラビア

## 宿泊客をまち歩きに誘い 観光消費を地域に波及させる。

### INTERVIEW



下呂温泉観光協会  
たき やすひろ  
会長 瀧 康洋さん

### 観光情報を映像で配信

法人向けブラビアを使い、地域のイベントやその日の天気だけではなく、伝えたい情報をピックアップして、効果的に配信。多言語対応も可能で、外国人観光客向けの施策としても有効だ。

### 宿泊客の満足度を上げる情報を配信



▲宿泊客は客室でゆっくり地域の観光情報を収集できる。

▲画面の二次元コードから詳細情報を読み取ることができる。

### イベント・祭り情報

宿泊中に体験できそうなイベントや祭りをカレンダーでお知らせ。3日間分・1週間分・1カ月分など、期間は自由に設定できる。

### 地域の飲食店情報

料理などの画像付きで、外国人観光客にも分かりやすい。素泊まり宿などでは、飲食店を案内する手間を省くことができる。

### 防災などのお役立ち情報

自治体が配信する防災情報をリアルタイムで共有。多言語翻訳サービスと連携すれば、外国人観光客にも安心だ。

岐阜県下呂市(げろし)の下呂温泉では、観光協会の旗振りのもと、複数の宿泊施設がデジタルサイネージを導入。イベントや飲食店など、地域の魅力的な観光情報を宿泊客向けに配信し、域内周遊の促進などを図っているという。

### イベントや飲食店などの情報を 宿泊客に4K高精細映像で配信する。

1,000年の歴史をもち、日本三名泉の一つとされる下呂温泉。pH9.2を誇るアルカリ性の泉質は、古くから美肌の湯として愛されてきた。コロナ禍からもいち早く回復し、昨年は個人客数が過去最高を記録。外国人観光客も順調に戻ってきているという。

しかし、「昔は温泉しかありませんでした」と話すのは、観光協会会長の瀧さんだ。10年以上前から宿泊施設や飲食店が協力して、スイーツの食べ歩きイベントを開催するなど、「歩きたくなる温泉地」づくりに力を入れてきた。さらに令和5年11月には、観光協会の旗振りのもと、旅館などの10施設が「ソニー」の「法人向けブラビア」を導入。イベントや飲食店の情報などを配信して、宿泊客にまち歩きを促しているという。

「ロビーや客室に設置していますが、高画質な4K映像が目飛び込んでくるのでインパクトがあります」と瀧さん。また、視野角が広いため、大勢の人が色々な角度から見ても、ゆがみや色の変化がほとんどないそうだ。ブラビアならではのきれいな映像が、地域の魅力をダイナミックに伝えてくれる。

## 温泉地全体を元気にする取り組み



観光情報をチェックして  
いざ、まち歩きに!

域内周遊を促進

観光消費額アップ

リピーターの獲得

### 温泉地の観光案内役として 周遊促進や消費額アップに貢献。

「下呂温泉には1泊朝食付きや素泊まりの宿が多く、地元のグルメを楽しみたい外国人観光客に人気です。しかし、そうした宿はスタッフがあまり多くないので、飲食店の案内が大変でした。好みを聞いてようやく探した店が休みだったり、満席だったり……。それが今は、宿泊客が自分で店を探せるように。画面に料理写真が映し出される上、二次元コードを読み込めば予約もできる。もちろん情報をスマホに表示させて、そのまま飲食店へ行くことも。「これまで苦労していたスタッフは“ブラビアを案内するだけで済む”と喜んでいきます」。受け入れ先の飲食店にとってもうれしい限りで、一石二鳥の取り組みとなっている。また、分かりにくい場所にある“地元の名店”にも観光客が訪れるようになり、体験の質や満足度の向上にもつながっているようだ。

飲食店だけでなく、イベントや祭りなどの情報も配信できるため、宿泊客をまち歩きへとスムーズに誘導。土産物店やスイーツ店など、観光による経済効果は温泉地全体に広がっているそうだ。「最近では、住民向けだけで商売をしていた人が、観光客向けの飲食店をオープンさせて大成功した事例もあります。なるべく多くの事業者が観光事業にも乗り出すことで、地域経済を安定的で、持続可能なものにすると考えています」。

### 自治体担当者の声 VOICE

下呂市  
観光商工部 観光課  
課長  
今井 寛司(いまい かんじ)さん



### 観光客に防災情報を伝える手段としても期待

下呂温泉をはじめ、様々な観光資源がある当市には、多くの観光客が訪れます。今回、下呂温泉観光協会が導入したブラビアは、平時は“食べ歩き”などを促すものですが、災害時には避難情報や通行止め情報などを配信することも可能です。もしものときは、こういった対面によらない情報伝達が大事になると考え、一時避難所に指定されている「観光交流センター」への設置も予定しています。

また、日本語だけでなく英語表記にも対応しているため、外国人観光客も楽しく活用しているようです。観光DXを活用した“便利で快適な観光地づくり”、“人手不足の解消”としても大いに期待しています。

### 導入機種



下呂温泉観光協会が導入した、法人向けブラビアFW-50BT30K/BZ。業務向けの機能を搭載しつつ、テレビチューナー内蔵で多彩な用途に使える4K液晶テレビだ。



▲ロビーには移動式スタンドで設置。天井りや壁かけにも対応。

### リピーターの獲得につなげて 観光の盛り上げりを地域全体へ。

地域の魅力を余すことなく伝えることで、“次はここに行きたい”と、リピート意欲をかき立てることも期待できる。特に、外国人観光客がよく利用しており、シンガポールから訪れた宿泊客は興味津々でブラビアにきぎげけだったという。設置した宿泊施設からは“海外でも認知度と信頼のあるソニーブランドなので安心”と評価する声も上がっている。また、市が配信する防災情報もリアルタイムで共有。多言語表示も可能なため、災害時の情報伝達手段としても有効だ。

「観光誘致の目的は、地域住民の生活の質を高めること。しかし、全国的に見ても、観光の力が地域に浸透して、活力が生まれている事例はまだまだ少ない。私たちは、そこに挑戦したいと考えています。そのために、観光DXは欠かせません。これからは、観光の力を下呂温泉だけでなく、市全体に広めていきたいですね」と、さらなる目標を語ってくれた。

### 補助金事業の対象

#### 観光庁の補助金を活用

「地域における受入環境整備促進事業」の中の「インバウンド安全・安心対策推進事業」として、補助金を活用して実装したケースもある。

### CHECK!

#### 実機でデモを体験

実機を活用したデモで、使い方や期待できる効果などを詳しく説明してくれる。興味のある自治体は気軽に問い合わせを。

#### お問い合わせ

☎ 0120-30-1260

ソニーマーケティング株式会社  
法人のお客様向け購入相談窓口

お問い合わせ・  
詳細はこちら▶

